

## 令和2年度仙台市の取り組みについて（令和2年12月末現在）

※下線部は新規もしくは変更事項

## 〈保健所の取り組み〉

（※新型コロナウイルス感染症対応のため、例年のような取り組みが実施できておりません。  
実施いたしました主な取り組みをご報告いたします）

## 1. 正しい知識の普及啓発

## (1) 通年実施している情報発信

- ・ 市政だよりへの掲載
- ・ インターネットの活用（仙台市ホームページ、情報提供ウェブサイト「仙台 HIV ネット」、「HIV 検査・相談マップ」等）

## (2) 世界エイズデーに合わせた啓発

- ・ 区役所におけるパネル展、啓発グッズ設置
- ・ 市内大学・短大・高等学校・中学校・関係機関に啓発ポスター送付

## (3) 学校等と連携した啓発

- ・ 健康教育の実施：星槎国際高等学校仙台キャンパス、大和小学校、児童自立支援施設

## (4) MSM に向けた情報発信

## ①東北 HIV コミュニケーションズとの協働による受検促進事業

- ・ 情報提供ウェブサイト「仙台 HIV ネット」での情報発信  
（平成 27・28 年度市民協働事業提案制度採択事業で作成）
- ・ MSM 向けアプリケーションへバナー広告の掲出（再掲）

## ②コミュニティセンターZEL との連携による、ゲイ向け商業施設等に配置する MSM 向け検査案内ポスターやちらしへの掲載等

## 2. 検査・相談の充実、感染者への支援について

(1) 新型コロナウイルス対応に伴う検査・相談体制の変更について

令和2年3月下旬から翌月上旬にかけて、市内で新型コロナウイルス感染症によるクラスターの発生が相次いだことを受け、4月10日より、外部団体に委託実施している夜間即日 HIV・梅毒検査（アエル夜間検査：金曜・月2回・事前予約制）を除き、検査をすべて休止した。休止した検査については、その後、休日即日 HIV・梅毒検査（土曜・月1回・事前予約制）のみ7月より再開し、アエル夜間検査と併せて継続して実施している。

10月の休日 HIV・梅毒即日検査は昨年度に引き続き男性限定検査イベントに置き換えて実施。密を避けるために予約制とし、定員20名で実施した。【受検者数 13名（うち、6名が肝炎ウイルス検査も受検）】

検査の実施にあたっては、密を避けるために通常よりも定員を10名程減らすとともに、面接室の亚克力板設置、検温や消毒といった感染対策を行っている。

感染者への速やかな受診勧奨及び、電話相談への対応は、例年同様に実施している。

(2) 休日 HIV・梅毒即日検査の令和3年度からの会場・日時の変更について

令和3年4月より、休日 HIV・梅毒即日検査を、外部委託にて実施することとし、広報を開始している。これに伴い、検査日時・会場が次のように変更となる。

【変更後】 第1土曜日 13:30～15:00 受付 会場：健康相談所 興生館（青葉区宮町1-1-5）

【変更前】 第3土曜日 13:30～15:00 受付 会場：青葉区役所2階

（※受付定員、予約方法は変更なし）

## 〈教育局 健康教育課の取り組み〉

### 1. 正しい知識の普及啓発

- (1) 学習指導要領に基づく教科指導の充実
- (2) 思春期保健の健康教育を実施（子供未来局子供保健福祉課と連携し、中学校・高等学校を対象に宮城県助産師会から講師を派遣し、出前講座を開催している。）
- (3) 令和2年度「世界エイズデーポスターコンクールの実施について」募集要項の送付（エイズ予防財団事務局より5月26日発出）
- (4) 令和2年度HIV検査普及週間について通知（4月30日発出）

### 2. 検査・相談の充実

- (1) 保健室での健康相談・個別指導

## 〈子供未来局 子供保健福祉課の取り組み〉

令和元年度の同様の内容で実施。

思春期保健健康教育については、12月末時点で、市立中学校10校で実施。

「妊娠等（望まない妊娠含む）に関する相談窓口」については、妊娠ほっとラインが令和2年5月末で委託終了。各区役所家庭健康課・総合支所保健福祉課で相談を受けている。